

# 17日 中浦地域で無料バザー



食料・雑貨・衣類の配給

「ご要望の聞き取り

今回の無料バザーでは、250人に救援物資をお届けしました。食料は、お米、緑黄色野菜、トマト、納豆、カップ麺など。雑貨は洗剤系やトイレットペーパーなどの消耗品や、食器類、衣類など。配給の順番を待っている人に、行政への要望をお聞きし、原発をなくしていく署名のご協力もお願いしました。その中で、被災して家や仕事を失ったことや、行政からの支援が受けられない実態などが聞かれました。



子どもと一緒に服を選ぶメンバー

東京・神奈川から43人のボランティア  
東京都小平市・西東京市、神奈川県横浜市から43人のボランティア  
が参加しました。200人以上に配れる食料を積んだ2トントラックも一緒です。バザーでの対話の感想を寄せてくれました。

「たくさんあった物資がほとんどはける。次のバザーの予定も聞かれた。まだまだ被災地には支援が必要だと感じた」「メディアを通じて被災地の状況を知っているつもりだったが、被災者の苦労は想像を超えていた。地域に戻ったら知人に伝え、支援を強めたい」

ボランティアから帰ったあと、早速お米を送られ、20日、石巻に届きました。

## 女川町で仮設住宅巡回（国民救援会）

19日、国民救援会と高野博町議は、女川町の仮設住宅 50 軒に、200 人分の食料・物資をお届けしました。

## ウッディゴルフスクエアで草むしり

18日、東松島市のゴルフ場で引き続き草むしりを行ないました。炎天下の中でしたが、「地域の雇用を作るためにがんばろう」と23人が元気に作業しました。

## 白鷺台・仮設住宅で無料バザー 渡波北部で物資お届け



18日の無料バザーでは、150人に支援物資をお届けしました。食料品だけでなく、食器類や消耗品の需要も多いです。日曜日ということで、子ども用の雑貨・衣類も多く出されました。19日は、渡波北部の仮設住宅に支援物資をお届けしました。